

2021年11月9日  
宮地エンジニアリング株式会社

当社の社員が第63回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会に出場しました

2021年10月23日（土）、24日（日）に、つま恋リゾート彩の郷（静岡県掛川市）で行われた第63回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会に、関西橋梁営業部の篠原孟が出場しました。大会出場にあたり会社のロゴ入りユニホームを提供するなど活躍を応援しました。

関西支社 関西橋梁営業部 篠原 孟

## 競技との出会い

大学の新歓で行ったアーチェリー部の風船割り大会で、今思えば体験に来てくれた新入生の誰に対しても言っているであろう「上手いね!」「センスあるよ!」という言葉におだてられ、本当にセンスがあるのではないかと思ったことが、競技を始めるきっかけとなりました。

大学の3年間はオリンピックで採用されているリカーブボウでの競技をしており、3年次に出場した全日本学生フィールドアーチェリー選手権以外の全国大会に出場することはできませんでした。

大学4年で部活の幹部から退いたこともあり、OBの影響を受け、今回全日本選手権大会に出場することになったコンパウンドボウでの競技を始めました。始めた当初は大学3年から続けていた学生連盟の業務や就活等で多忙だったためほとんど練習をしておらず、全日本選手権など夢のまた夢のような成績でした。

## 転換点

当社に入社した後も細々と競技を続けていこうと考えておりましたが、コロナ禍のため練習場が閉鎖され自宅で出来るトレーニングや道具に対する知識を深める事が中心となっていました。当時は屋外で競技をできないことが大変苦痛でしたが、今考えると大きな転換点の一つであったと思います。

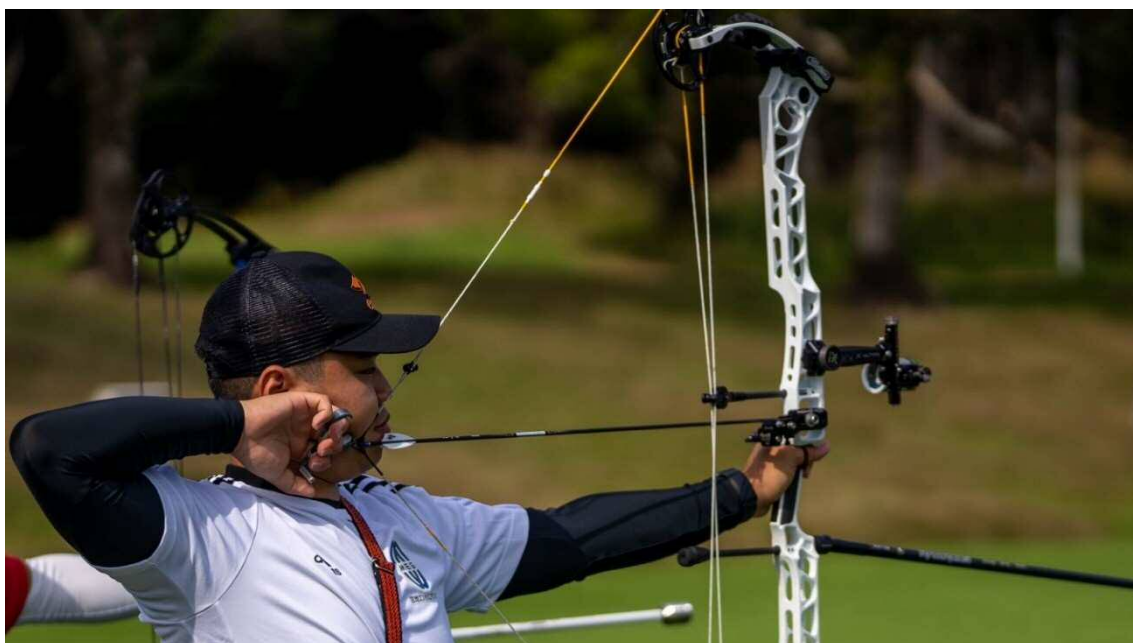
また、昨年7月から大阪に配属になったことも転換点の一つであったと思います。関西圏は、練習場の数でいえば関東圏に比べ圧倒的に少ないのですが、年間で開催される全日本アーチェリー連盟公認記録会の数は2倍以上あり、記録会で見つかった課題をその後の練

習で改善し、また次の記録会で活かすことが出来たため 1 年間でめきめきと上達することが出来ました。

### 夢の全日本選手権出場

そして、2021 年、アーチェリーを始めて 6 年にして、初めて全日本選手権へ出場することが出来ました。結果は 28 位(37 人中)と緊張に飲まれ実力を発揮することが出来ず、大変悔しい結果に終わってしまいましたが、社内をはじめとして多くの方々の暖かいご支援と声援のおかげでここまでたどり着くことが出来たと思います。本当にありがとうございました。

社業と競技の二刀流で今後とも精進して参りますのでよろしくお願いいたします。



選手権大会で競技を行う篠原職員

※アーチェリーは弓本体の種類により、リカーブボウ、コンパウンドボウ、ベアボウの3つに分類されており、今回の選手権大会もこれら 3 部門に分かれて行われました。